

【NEWS RELEASE】

2018年8月13日

各位

株式会社 三井住友銀行

日本アコモデーションファンド投資法人に「SMBC環境配慮評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、日本アコモデーションファンド投資法人（執行役員 池田 孝）に対し、「SMBC環境配慮評価融資」を実施致しました。

「SMBC環境配慮評価融資」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：淵崎 正弘）が作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況を評価し、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する融資商品です。

今回対象となりました、日本アコモデーションファンド投資法人の環境配慮に関する取組への評価においては、「環境負荷の把握の状況」「環境ビジネス」「環境保全対策の取組の状況」などの面で高い水準であると判断され、資産運用において良好な環境配慮を実施されている、「A」の評価結果になりました。

特に、今回の評価に当たっては、以下の点等が高く評価されました。

保有不動産における電力使用量や水使用量等の主な環境負荷を月単位で把握し、前年比や前月比で乖離が大きい場合は、増減理由をプロパティマネジメント会社に確認するなど、増減要因を精緻に分析されている点

コージェネレーションシステムを導入した施設や、雨水の有効利用を行う施設など、気候変動の緩和や適応に資する不動産の保有を通じて、持続可能な社会の実現に貢献しておられる点

テナントと契約する賃貸借契約書に、電気・ガス・水道等を過剰に使用しないよう要請する条文の追加や、外部委託業者の選定・評価時の環境・社会配慮面の確認など、外部に対してもサステナビリティの推進を働きかけておられる点

三井住友銀行では、REITに対して「SMBC環境配慮評価融資」を取り組むことで、本業を通じ、環境に配慮した社会の実現に貢献をして参ります。

以上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。